

学修の成果に係る評価及び修了の認定に当たっての基準

大学院看護学研究科 博士後期課程

成績評価基準

- ・科目成績は、秀、優、良、可、不可とし、秀、優、良、可を合格とする。
- ・最終試験は、合格、不合格とする。

修了要件

博士課程修了の要件は、大学院に5年（修士の学位を有する者は、博士後期課程に3年以上在学を要する）以上在学し、博士後期課程授業科目について23単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格するものとする。合格した者には、博士（看護学）の学位を授与する。

学位論文の審査基準

1. 研究者コース

- 1) 問題意識が明確でテーマ設定が適切か
- 2) 課題に見合った方法論が選択されているか
- 3) 与えられた情報や仮定から、適切に結論が導かれているか
- 4) 明解性・一貫性・論理性・説明力のある論旨が展開されているか
- 5) 独創性・新規性があるか
- 6) 自律的・計画的・持続的に十分時間をかけて学位論文を作成したか
- 7) 自身の論文について、テーマ設定 データ収集 推論 結論の導出、の過程を説明し、弁明できるか
- 8) 看護関連の雑誌に掲載された業績（掲載予定を含む）はあるか
- 9) 国際的評価に値するか
- 10) 看護学への貢献度があるか

2. DNP コース

- 1) 現場の特徴や組織改革についての明確な問題意識のもとにテーマが設定されているか
- 2) エビデンスに基づいた介入を実装するための計画が立てられているか
- 3) QI サイクルの実施と結果、改善のプロセスが明示され、データ収集と解析に基づく結論が導かれているか
- 4) 明解性・一貫性・論理性・説明力のある論旨が展開されているか
- 5) 実施する組織やフィールドに固有の問題を明確化し、先進的かつ実効的な戦略であるか
- 6) 自律的・計画的・持続的に十分時間をかけて学位論文を作成したか

- 7) 自身の論文について、テーマ設定 データ収集 推論 結論の導出、の過程を説明し、弁明できるか
- 8) 実践上の業績はあるか（専門看護師申請、更新の業績項目に準拠する）
- 9) 国際的評価に値するか
- 10) 看護学への貢献度があるか

最終試験の審査基準

- 1) 自律的・計画的・持続的に十分時間をかけて学位論文を作成したか
- 2) これまで、積極的にプレゼンテーション（研究発表・論文執筆）を行っており、今後も継続してプレゼンテーションを行なうことができるか
- 3) 今後の研究課題の展開、およびこれから自立して研究者としてやっていける見通しを持っているか
- 4) 看護研究者として必要とされる態度・資質（例えば、人間性・良識、共感性、協調性、社会性、謙虚さ、誠実さ、リーダーシップ、自分の弱点・強みが理解できるか、等）を有しているか
- 5) 看護研究者としての幅広い知識・教養（例えば、社会問題、自然環境、人間心理、歴史への関心）等を有している

審査方法

本学学位規程により定める審査委員が学位論文・最終試験の審査基準により総合的に判定し、合・否を決定する。

履修方法

各専攻・分野における授業科目、単位の履修方法については以下の通り

[大学院看護学研究科 博士後期課程 シラバス・時間割 | 聖路加国際大学 \(luke.ac.jp\)](http://luke.ac.jp)